

科目区分	専門教育科目	科目名	介護過程Ⅰ		科目コード	17F540	担当者	田川 千秋			
対象学生	介護福祉士コース1年生	学期区分	前期	単位数	1	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う学習とする						1. 「尽心」 誠実な人柄と人間力	2. 「創造」 高度な知性と創造力	3. 「実践」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・創判造断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	介護過程の意義、目的・目標を理解するため生活支援の課題、目標の捕らえることができる。										
2.	情報収集とアセスメントを理解しその方法を習得する。										
3.											
4.								◎	○		
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（50%） 臨時試験（10%） 提出物（15%） 受講態度（25%）					
介護過程の一連の流れを理解し、事例と実習で実施したアセスメントを元に、個別の生活課題の明確化とそれらを解決する計画を立案し、介護の実践ができる											
準備学修						課題等への対応					
医学一般・こころとからだのしくみ・リハビリテーション・介護の基本・コミュニケーションなどをしっかり学び、技術習得のためくりかえし練習して下さい。（目安の時間30分程度）						レポートのチェックと試験の評価と再試験による振り返り					
授業計画											
第1回	生活者としての利用者を理解する										
第2回	生活者としての利用者を理解する										
第3回	介護過程の意義と目的・目標を知る										
第4回	介護過程の意義と目的・目標を知る										
第5回	事例①を通して情報収集とアセスメントとは何かを知り、その方法を学ぶ										
第6回	事例①を通して情報収集とアセスメントの方法を学ぶ										
第7回	事例①を通して情報収集とアセスメントの方法を学ぶ										
第8回	事例①を通して情報収集とアセスメントの方法を学ぶ										
第9回	事例①の生活支援の課題、目標のとらえ方を知る										
第10回	I C Fの視点で課題を整理し明確にして、目標のとらえる方法を学ぶ										
第11回	事例②を通して情報収集とアセスメントの方法を学ぶ										
第12回	事例②を通して情報収集とアセスメントの方法を学ぶ										
第13回	I C Fの視点で課題を整理し明確にして、目標のとらえる方法を学ぶ										
第14回	事例②の生活支援の課題、目標のとらえ方を知り優先順位をつける										
第15回	事例①・②から課題の解決方法を考える										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
新・介護福祉士養成テキスト 「介護過程」 中央法規						まずは自分のことで考えましょう。自分らしく日常生活をするために何が大切で、何が必要か考えて下さい。					